

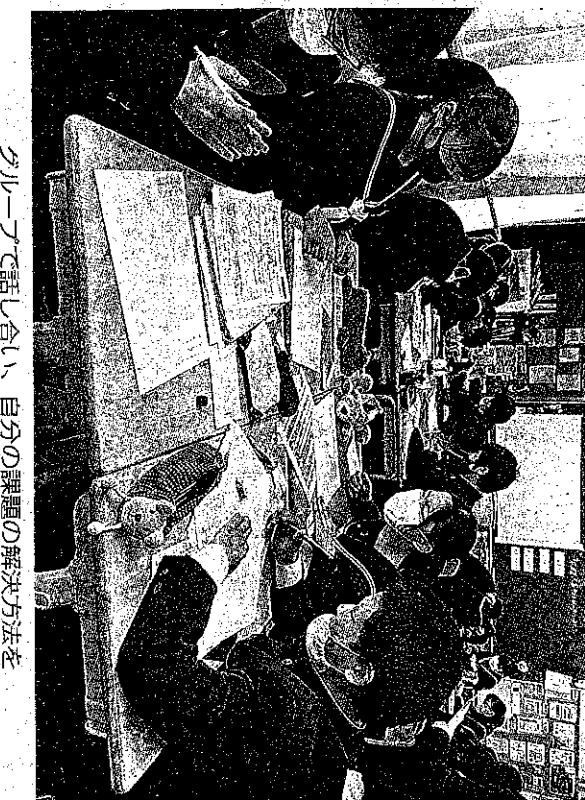
行重之子也

を収束の気配が見えた。責任ある学校がある。責任あるの時間を中心にして、や解決能力を身につける自身の観察から、愛知県尾張旭市の組んだのは、各校から一ヶ月にわたり生三百九十三人が、

「アーティストの行動は何か、必ず偏見や差別がある。アーティストは多角的で、多面的であるべきだ。」
「感性狂から身を出さる私たちは衛生プロロジウム」
中一月トを使つた整理・分析など
命を守るために何をするか
を通じ、自分じ友達の心

が各層を示していた。感染症や差別等への対応を要な生徒個別支援のため観察「中止する」に答えて自身を八項目で、アーバンは全アーバンで評価。他の傾向を四段階階で評価。他意識がどう変わったかを自分で数値で分かることで、低めか高めかが問われる。また、課題調査を経て理田を「友達に説いてみた」「家へ帰る」と自分の行動を記述。「スリム」が「手洗いをして」「ごみ」「感染」の3項目を記述した。

海外ニュースや音楽活用



「口ナ時代の「生き方」考える 愛知の中学校

この感染症について上での問題
があるのか。総合学習
など取り組んだ中学

（このためを確認した。）
（はまく新聞から採った）
「バーフード」を入れて
「プロセクト最終日」と
「作った」月八日の総合學習の
作つたアラブを近隣の
四小学校に贈る予定だ。

(第3種郵便物認可)